

政治経済学科カリキュラムマップ(2026年度)

政治経済学科 ディプロマ・ポリシー

- 1) 政治経済を基礎として、自らの興味関心に応じて、社会科学（政治学・経済学・経営学・社会学・情報学・法学）に関わる専門知識を身につけ、社会の多様な問題を総合的に理解できる【知識】
- 2) 現代社会が直面するさまざまな課題に対し、グローバルおよびローカルの両方の視点から考察し、自身の表現で説明できる【場・視点】
- 3) 実学的かつ実践的な学びに対し、主体的に問いを設定し、自ら探求し、行動することができる【態度・意欲】

◎＝強く学修成果を求めるもの

○＝学修成果を求めるもの

△＝学修成果を望むもの

DP／科目対応表

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授 業 科 目	a.社会科学の幅広い 専門知識とその活用	a.グローバルゼー ションへの理解	b.地域社会への 理解	a.問いの設定と 探求	b.問題解決への アプローチ
			社会問題の探求において、 自己とは異なる多様な視点 (文化的背景、倫理的立 場、学問領域の特徴)を理 解し、それらを関連づけるこ とができる。	グローバルシステム における国際機関、 国家、地域社会、個 人の相互関係を理解 した上で、グローバル およびローカルな諸 問題に対する自身の 見解を示すことがで きる。	地域社会内外の固有 性・多様性を理解した 上で、具体的な地域課 題について考察し、自 身の見解を示すことが できる。	具体的な状況につ いて、自ら問いを設 定し、当事者意識 を持ちながら他者と 共に探求することが できる。	具体的な状況の中 で、適用しうる問題解 決のアプローチを発 見することができる。
共 通 専 門 科 目	POL-100	政治学	◎	◎	○	◎	○
	ECO-100	経済学	◎	◎	○	◎	○
	FYE-100	社会への扉を開く	◎	◎	◎	◎	◎
	FUL-100	法学	◎	△	△	◎	○
	SOC-100	社会学	◎	◎	◎	◎	○
	MAN-100	経営学	◎	◎	○	◎	◎
	THI-100	情報学	◎	○	△	◎	○
	INR-100	平和学	◎	◎	○	◎	◎
	CLD-100	まちづくり学	◎	◎	◎	◎	◎
	FYE-100	基礎教育入門(書き方)	○	△	△	○	○
政 治 学 系	POL-200	行政学A		○	◎	○	△
	POL-200	行政学B		○	◎	○	△
	POL-200	地方自治論	○	○	◎	◎	△
	POL-200	日本政治史A	○	○	△		
	POL-200	日本政治史B	○	○	△		
	POL-300	比較政治学	◎	○	○	△	
	POL-300	日本政治思想史A	◎	△	△		
	POL-300	日本政治思想史B	◎	△	△		
	POL-200	西洋政治思想史A	◎	△	△		
	POL-200	西洋政治思想史B	◎	△	△		
	POL-300	公共政策論	◎	○	◎	◎	◎
	POL-400	政治哲学	◎	△	△		
	POL-400	埼玉地域政策研究		○	◎	◎	○
	PHE-100	倫理学概論	◎	○		○	
	INR-200	国際政治学	◎	◎		○	
	INR-200	開発学A	○	◎	○	○	○
	INR-200	開発学B	○	◎	○	○	○
	INR-200	国際機構論	○	◎	△		
	ARS-300	アジア地域研究A	◎	◎	○		
	ARS-300	アジア地域研究B	◎	◎	○		
ARS-300	北米地域研究	◎	◎	○			
ARS-300	アフリカ地域研究	◎	◎	○			

政治経済学科カリキュラムマップ(2026年度)

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点(文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴)を理解し、それらを関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
法学系	PUL-200	憲法	◎	△	○	◎	◎
	ILA-200	国際法A	◎	◎	△	○	◎
	ILA-200	国際法B	◎	◎	△	○	◎
	ILA-300	国際人権法	◎	◎	△	○	◎
	PUL-200	行政法A	◎		○	○	◎
	PUL-200	行政法B	◎		○	○	◎
	SOL-300	経済法	◎	○	○	○	◎
	SOL-300	労働法	◎		○	◎	◎
	CIL-200	商法	◎		○	○	◎
	CIL-300	会社法	○		○	◎	○
	CIL-300	金融商品取引法	○		○	◎	○
	CIL-200	民法A	◎		○	○	◎
	CIL-200	民法B	◎		○	○	◎
経済学系	ECT-200	ミクロ経済学	◎	○	○		
	ECT-200	マクロ経済学	◎	○	○		
	ECT-200	経済思想史	◎	○	○		
	EDE-300	日本経済論	◎	○	○	△	△
	ECP-300	国際経済論A	◎	◎	○	△	△
	ECP-300	国際経済論B	◎	◎	○	△	△
	ECP-300	経済政策A	◎	○	○	△	△
	ECP-300	経済政策B	◎	○	○	△	△
	PFP-200	財政学	◎	○	○		
	PFP-300	地方財政	◎		◎	○	○
	PFP-300	労働経済論A	◎	○	○	△	△
	PFP-300	労働経済論B	◎	○	○	△	△
	PFP-300	地域経済論	◎		◎	○	○
	MOF-200	金融論	◎	○	○		
	ECH-200	経済史	◎			△	△

政治経済学科カリキュラムマップ(2026年度)

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目区分	ナンバリング	授業科目	a.社会科学の幅広い専門知識とその活用	a.グローバル化への理解	b.地域社会への理解	a.問いの設定と探求	b.問題解決へのアプローチ
			社会問題の探求において、自己とは異なる多様な視点(文化的背景、倫理的立場、学問領域の特徴)を理解し、それらに関連づけることができる。	グローバルシステムにおける国際機関、国家、地域社会、個人の相互関係を理解した上で、グローバルおよびローカルな諸問題に対する自身の見解を示すことができる。	地域社会内外の固有性・多様性を理解した上で、具体的な地域課題について考察し、自身の見解を示すことができる。	具体的な状況について、自ら問いを設定し、当事者意識を持ちながら他者と共に探求することができる。	具体的な状況の中で、適用しうる問題解決のアプローチを発見することができる。
経営学系	MAN-200	経営管理	◎	◎	○	◎	○
	MAN-200	経営倫理	◎	◎	○	◎	○
	MAN-200	組織行動論	◎	◎	○	◎	○
	MOF-300	コーポレート・ファイナンス	◎	◎	○	○	◎
	MOF-200	パーソナル・ファイナンス	○	◎	○	○	◎
	MAN-300	異文化マネジメント	◎	◎	○	◎	○
	MAN-300	マーケティング論	◎	◎	○	◎	◎
	ACC-200	会計学A	◎	○	○	○	◎
	ACC-200	会計学B	◎	○	○	○	◎
	ACC-200	簿記Ⅰ	◎	○	○	○	◎
	ACC-300	簿記Ⅱ(商業)	◎	○	○	○	◎
	ACC-300	簿記Ⅱ(工業)	◎	○	○	○	◎
	MAN-300	経営史	◎	○	○	◎	○
	MAN-300	ベンチャー・ビジネス論	◎	○	○	○	◎
	MAN-300	コミュニティ・ビジネス論	◎	○	◎	○	◎
	MAN-300	中小企業論	◎	○	◎	○	○
社会学系	CAE-200	ビジネス実務			◎	○	◎
	CAE-200	秘書学概論				○	◎
	EAE-100	環境学	◎	◎	○	○	△
	GDE-200	ジェンダー論	◎	○	△	◎	◎
	POL-200	社会政策論	◎	○	◎	◎	◎
	SOC-100	情報と社会	◎	◎	○	◎	△
	SOC-200	現代社会論	◎	○	○	◎	○
	SOC-100	地域社会論	◎	○	◎	◎	△
	SOC-200	家族社会学	◎	○	◎	○	◎
	SOC-300	コミュニケーション学	◎	◎	△	○	△
情報学系	SOC-300	NPO・NGO論	○	◎	◎	◎	◎
	SWS-100	ボランティア概論	○	○	◎	◎	◎
	SWS-300	貧困に対する支援	◎	○	◎	◎	◎
	THI-200	情報処理	△	△	△	○	◎
	LIH-200	情報倫理	◎	◎	○	◎	○
	LIH-200	デジタルメディア論	◎	◎	○	○	○
	LIH-200	法政情報論	◎	◎	○	○	○
	LIH-200	情報メディア史	◎	◎	△	○	△
	LIH-300	情報システム論	◎	◎	△	○	◎
	LIH-300	社会科学とプログラミング	◎	△	△	○	○
社会学系	LIH-400	社会情報論	◎	◎	◎	○	○
	LIH-200	図書館情報技術論	○	◎	○	△	◎
	LIH-200	情報サービス論	○	○	○	○	◎
	LIH-200	情報サービス演習A	○	○	○	△	◎
	LIH-200	情報サービス演習B	○	○	○	△	◎
	COS-200	デジタルコミュニケーション	○	○	○	◎	◎
	SOF-200	情報応用実践	△	○	△	△	◎

政治経済学科カリキュラムマップ(2026年度)

			DP関連項目				
			DP1	DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授 業 科 目	a.社会科学の幅広い 専門知識とその活用	a.グローバルゼー ションへの理解	b.地域社会への 理解	a.問いの設定と 探求	b.問題解決への アプローチ
			社会問題の探求において、 自己とは異なる多様な視点 (文化的背景、倫理的立 場、学問領域の特徴)を理 解し、それらに関連づけるこ とができる。	グローバルシステム における国際機関、 国家、地域社会、個 人の相互関係を理解 した上で、グローバル およびローカルな諸 問題に対する自身の 見解を示すことがで きる。	地域社会内外の固有 性・多様性を理解した 上で、具体的な地域課 題について考察し、自 身の見解を示すことが できる。	具体的な状況につ いて、自ら問いを設 定し、当事者意識 を持ちながら他者と 共に探求することが できる。	具体的な状況の中 で、適用しうる問題解 決のアプローチを発 見することができる。
そ の 他	IND-300	インディペンデント・スタディA	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-300	インディペンデント・スタディB	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-300	インディペンデント・スタディC	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-300	インディペンデント・スタディD	◎	◎	◎	◎	◎
	ENG-100	TOEIC(初級)		◎			
	ENG-200	TOEIC(中級)		◎			
	ENG-200	実用英語技能検定(英検2級)対策		◎			
	ENG-300	TOEFL		◎			
	POL-400	政治経済学特論A	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特論B	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特講	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特講A	◎	◎	◎	◎	◎
	POL-400	政治経済学特講B	◎	◎	◎	◎	◎
公 務 員	CAE-100	公務員講座(文章理解)	○	△	○	◎	○
	CAE-100	公務員講座(判断推理)	○	△	○	◎	○
	CAE-100	公務員講座(数的推理・資料解釈)	○	△	○	◎	○
	CAE-200	公務員講座(人文科学)	○	○	○	◎	○
	CAE-200	公務員講座(社会科学)	○	○	○	◎	○
	CAE-200	公務員講座(自然科学)	○	△	○	◎	○
	CAE-300	公務員特講(自治体研究A)	◎	○	◎	◎	○
	CAE-300	公務員特講(自治体研究B)	◎	△	◎	◎	◎
	CAE-300	公務員演習A	○	◎	○	◎	○
	CAE-300	公務員演習B	◎	○	◎	◎	◎
社 会 教 育 主 事	CAE-400	公務員講座(専門A)	◎	◎	◎	◎	◎
	CAE-400	公務員講座(専門B)	◎	◎	◎	◎	◎
	EDU-200	生涯学習概論A	◎	○	◎	○	△
	EDU-200	生涯学習概論B	◎	○	◎	○	△
	EDU-200	生涯学習支援論A	△	△	◎	◎	○
	EDU-200	生涯学習支援論B	△	△	◎	◎	○
	EDU-200	社会教育経営論A	◎	○	◎	○	△
	EDU-200	社会教育経営論B	◎	○	◎	○	△
	EDU-300	社会教育実習	△	△	◎	◎	◎
	EDU-200	社会教育課題研究A	○	○	◎	◎	◎
	EDU-200	社会教育課題研究B	○	○	◎	◎	◎
	EDU-200	現代社会と社会教育A	○	△	○	○	○
演 習 科 目	EDU-200	現代社会と社会教育B	○	△	○	○	○
	EDU-200	地域社会教育論A	○	○	◎	◎	○
	EDU-200	地域社会教育論B	○	○	◎	◎	○
	FYE-100	予備演習A	○	◎	◎	◎	○
	FYE-100	予備演習B	○	◎	◎	◎	○
	SEM-200	専門演習A	◎	◎	◎	◎	◎
	SEM-200	専門演習B	◎	◎	◎	◎	◎
	SEM-300	卒業研究 I	◎	◎	◎	◎	◎
	SEM-300	卒業研究 II	◎	◎	◎	◎	◎
	THE-400	卒業論文	◎	◎	◎	◎	◎

国際文化学科カリキュラムマップ(2026年度)

国際文化学科 ディプロマ・ポリシー

- ① 国際人として世界を舞台に活躍するための、責任ある主体性やコミュニケーション力を習得する。
- ② グローバル世界に大きな影響力を持つ欧米文化についての知識や、それを源流とする思考法を身につける。
- ③ 現代国際社会の複雑な多文化状況を読み解き、文化的問題の解決に貢献するための文化的批判力を習得する。

◎＝強く学修成果を求めるもの
○＝学修成果を求めるもの
△＝学修成果を望むもの

DP／科目対応表

			DP関連項目				
			DP1		DP2	DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての主体性	b.国際人としてのコミュニケーション力	a.欧米文化についての知識と思考法	a.国際社会の多文化状況への解釈	b.文化的批判力の習得
			国際人としての自己のアイデンティティを明確にし、環境的・社会的に重要な問題について自ら積極的に考え、行動することができる。	母語と異なる言語を自由に用いることができ、言語及び非言語コミュニケーションに関する文化的な違いについて深く理解して行動に取り入れ、その違いの認識に基づき、共通の理解を得るために協議することができる。	欧米文化圏の歴史、価値観、政治、コミュニケーション方法、経済、考え方、習慣的行動に関する高度な知識を有し、その知識を縦横に駆使して思考することができる。	複数の文化の世界観、権力構造、経験の重要な関連性を、歴史的に、または現在の状況に照らして深く分析し、高度に解釈できる。	獲得した知識や技能を応用し、文化的問題を複数の立場から多角的に考察し、有効な解決策を提示することができる。
科目基礎群	FYE-100	基礎ゼミ A	○	◎			○
	FYE-100	基礎ゼミ B	○	◎			○
	FYE-100	基礎ゼミ C	○	◎			○
地域文化科目群	HEA-100	現代アメリカ事情			◎	○	
	HEA-100	ヨーロッパ入門			◎	○	
	ARS-200	アメリカの社会と文化			◎	○	
	ARS-200	英語圏文化			◎	○	
	ARS-200	フランス語圏文化			◎	○	
	ARS-200	ドイツ語圏文化			◎	○	
	ARS-200	スペイン語圏文化			◎	○	
	ARS-200	イタリアの社会と文化			◎	○	
	ARS-200	北欧の社会と文化			◎	○	
	ARS-200	東欧の社会と文化			◎	○	
	ARS-300	アメリカ美術			◎		○
	CUA-300	アメリカ大衆文化			◎	○	○
	ARS-300	イギリス研究			◎		○
CST-300	比較文化			◎		○	
TOS-300	ツーリズムと文化形成			◎		○	
思想科目群	PHE-100	哲学入門			◎	○	
	PHE-100	倫理入門			◎	○	
	PHE-200	思想（倫理）			◎	○	
	PHE-200	哲学の思考法			◎	○	
	PHE-200	思想（キリスト教）			◎	○	
	PHE-300	哲学の諸問題			◎	○	
	PHE-300	現代倫理			◎	○	
	PHE-300	キリスト教と人間学			◎	○	
歴史科目群	HSG-200	グローバル世界の歴史			◎	○	
	HSG-200	ヨーロッパと近代世界			◎	○	
	HEA-300	ヨーロッパ近現代史			◎	○	
	HEA-300	ヨーロッパ中世・近世史			◎	○	
	ARS-300	アメリカ史			◎	○	

国際文化学科カリキュラムマップ(2026年度)

			DP関連項目				
			DP1		DP2	DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての主体性	b.国際人としてのコミュニケーション力	a.欧米文化についての知識と思考法	a.国際社会の多文化状況への解釈	b.文化的批判力の習得
			国際人としての自己のアイデンティティを明確にし、環境的・社会的に重要な問題について自ら積極的に考え、行動することができる。	母語と異なる言語を自由に用いることができ、言語及び非言語コミュニケーションに関する文化的な違いについて深く理解して行動に取り入れ、その違いの認識に基づき、共通の理解を得るために協議することができる。	欧米文化圏の歴史、価値観、政治、コミュニケーション方法、経済、考え方、習慣的行動に関する高度な知識を有し、その知識を縦横に駆使して思考することができる。	複数の文化の世界観、権力構造、経験の重要な関連性を、歴史的に、または現在の状況に照らして深く分析し、高度に解釈できる。	獲得した知識や技能を応用し、文化的問題を複数の立場から多角的に考察し、有効な解決策を提示することができる。
文学 科目 群	LIE-100	文学入門			◎		
	LIE-200	英米文学概論		○	◎		
	LIE-200	英米児童文学		○	◎		
	LIG-300	比較文学		◎	○	○	◎
	LIG-300	ファンタジー論		○	◎		○
	LIG-300	クリエイティブ・ライティング		◎			○
	CHS-200	絵本文化論					
	LIG-100	文学理論					
芸術 科目 群	ARL-100	社会と芸術文化A			◎	○	
	ARL-100	社会と芸術文化B			◎	○	
	ARL-100	社会と芸術文化C			◎	○	
	ASA-200	芸術と文化（西洋美術）			◎	○	
	ARL-200	芸術と文化（舞台芸術）			◎	○	
	ASA-200	芸術と文化（西洋音楽）			◎	○	
	ARL-200	視覚・表象文化（映像文化入門）			◎	○	○
	ARL-300	視覚・表象文化（現代視覚文化）			◎	○	
	ARL-300	視覚・表象文化（映画史）			◎	○	
	ARL-300	視覚・表象文化（グローバル時代の映像）			◎	○	○
ARL-300	ジェンダーと視覚文化			○	◎	○	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目 群	ENG-100	外国語学習ストラテジー		◎			
	ENG-100	TOEIC（初級）		◎			
	ENG-200	TOEIC（中級）		◎			
	ENG-200	実用英語技能検定（英検2級）対策		◎			
	ENG-300	TOEFL		◎			
	ENG-200	就職に役立つ基礎英語		◎			
	ENG-200	職場で役立つ基礎英語		◎			
	ENG-200	グローバルコミュニケーションスキルズ		◎	◎		
	ENG-200	グローバルリーディングスキルズ		◎	◎		
	ENG-200	グローバルライティングスキルズ		◎	◎		
	ENG-300	アカデミックライティングスキルズ		◎	◎		
	ENG-300	Public Speaking		◎	◎		
	ENG-300	Academic Debate		◎	◎		
	ENG-300	Media Literacy		◎	◎		
	ENG-300	English through Literature		◎	◎		

国際文化学科カリキュラムマップ(2026年度)

			DP関連項目				
			DP1		DP2	DP3	
科目 区分	ナンバリング	授業科目	a.国際人としての主体性	b.国際人としてのコミュニケーション力	a.欧米文化についての知識と思考法	a.国際社会の多文化状況への解釈	b.文化的批判力の習得
			国際人としての自己のアイデンティティを明確にし、環境的・社会的に重要な問題について自ら積極的に考え、行動することができる。	母語と異なる言語を自由に用いることができ、言語及び非言語コミュニケーションに関する文化的な違いについて深く理解して行動に取り入れ、その違いの認識に基づき、共通の理解を得るために協議することができる。	欧米文化圏の歴史、価値観、政治、コミュニケーション方法、経済、考え方、習慣的行動に関する高度な知識を有し、その知識を縦横に駆使して思考することができる。	複数の文化の世界観、権力構造、経験の重要な関連性を、歴史的に、または現在の状況に照らして深く分析し、高度に解釈できる。	獲得した知識や技能を応用し、文化的問題を複数の立場から多角的に考察し、有効な解決策を提示することができる。
言語・英語教育科目群	CST-100	異文化理解			◎	◎	◎
	CST-200	異文化間コミュニケーション	◎		◎	◎	◎
	FLE-300	異文化コミュニケーション実習	◎	◎	◎	◎	◎
	JLE-100	言語習得と異文化受容	◎		◎	◎	◎
	EDU-200	異文化間教育	◎		◎	◎	◎
	CST-200	グローバル社会と国際理解		◎	◎	◎	◎
	LIN-200	言語学概論		◎	◎		
	ENL-200	英語学概論		◎	◎		
	LIN-200	対照言語学		◎	◎		
	ENL-200	現代英文法		◎	◎		
	ENL-300	英語音声学		◎	◎		
	ESS-300	教えるための英文法		◎			
	ENL-200	英語スピーチ発音法		◎			
	ESS-100	Smile English(幼児の英語)		◎			
	FLE-100	児童英語教育(理論)		◎			
	FLE-200	児童英語教育(カリキュラム・デザイン)		◎			
	FLE-200	児童英語教育(ワークショップA)		◎			
	FLE-200	児童英語教育(ワークショップB)		◎			
	FLE-300	児童英語教育(インターンシップⅠ)		◎			
FLE-300	児童英語教育(インターンシップⅡ)		◎				
上級科目	ARS-400	欧米文化特論	◎	◎	◎	◎	◎
	ARS-200	イギリス英語・文化研修		◎	◎		◎
	IND-400	インディペンデント・スタディA	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-400	インディペンデント・スタディB	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-400	インディペンデント・スタディC	◎	◎	◎	◎	◎
	IND-400	インディペンデント・スタディD	◎	◎	◎	◎	◎
	STA-400	海外研修A	◎	◎	◎	◎	◎
	STA-400	海外研修B	◎	◎	◎	◎	◎
	STA-400	海外研修C	◎	◎	◎	◎	◎
STA-400	海外研修D	◎	◎	◎	◎	◎	
関連科目	EDU-300	介護等体験及び事前事後指導					
	EDU-300	キリスト教と学校教育					
	EDU-200	生涯学習概論					
	LIH-200	図書館情報学概論					
	LIH-200	図書館サービス概論					
	LIH-200	情報メディア史					
演習科目	EACL-A-200	専門演習Ⅰ				◎	◎
	EACL-A-300	専門演習Ⅱ				◎	◎
	EACL-A-300	卒業研究Ⅰ				◎	◎
	EACL-A-400	卒業研究Ⅱ				◎	◎
	EACL-A-400	卒業論文				◎	◎

日本文化学科 ディプロマ・ポリシー

- ①日本の社会や文化の課題に、世界の中での日本を見つめるグローバルな視点から取り組むことができる人として活躍できるための、人文学の幅広くかつ深い学識を習得する。
- ②歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重する専門的な知識にたつて、さまざまな持ち場で活躍できる市民としてのあり方を身につける。
- ③文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、積極的な自己実現の意欲と、同時に他者を尊重する態度を涵養する。

◎＝強く学修成果を求めるもの
○＝学修成果を求めるもの
△＝学修成果を望むもの

DP／科目対応表

			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目区分	ナンバリング	授 業 科 目	日本の社会や文化の課題に取り組む。	世界の中での日本を見つめるグローバルな視点をもつ。	人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につける。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得する。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
共通専門科目	FYE-100	日本文化概論	◎	○	◎				
	FYE-100	日本学入門	◎	◎	○				
	FYE-100	基礎教育入門(書き方)	◎		◎			△	
	FYE-100	文章表現法	◎		◎			△	
学科基礎科目	JLN-100	日本語学概説	○		◎				
	JLT-200	日本文学概説	○		◎				
	JPH-100	日本史概説A	○		◎				
	JPH-100	日本史概説B	○		◎				
	JLE-100	日本語教育A	○		◎				
	JLE-100	日本語教育と社会	○		◎				
	JLT-100	古典読解A	○		◎				
	JLT-100	古典読解B	○		◎				
	JLT-100	近現代文学読解	○		◎				
	HSG-100	史料読解	○		◎				
	HIT-100	日本思想入門	○		◎				
	ARL-100	伝統芸能入門	○		◎				
	CUA-100	相関文化	◎	○	○				
	CUA-100	比較文化概論	○	◎	○				
	HSG-100	文化交流史(アジアと日本)	○	◎	○				
	JLE-200	日本語表現法(ディベート)	△				◎	△	
	ARL-100	書道	○		◎				
	JLE-200	国際交流と多文化共生		△			◎	△	
文化論・比較文化系	ARL-200	日本の演劇			△	◎	○		
	ARL-200	日本の美術			△	◎	○		
	ARL-200	日本の音楽			△	◎	○		
	CUA-200	日本の民俗			△	◎	○		
	ARL-200	日本のポップ・カルチャー			△	◎	○		
	ARL-200	視覚・表象文化(映像文化入門)			△	○	◎		
	ARL-200	視覚・表象文化(グローバル時代の映像)		△	△	○	◎		
	ARL-200	絵本文化論			△	○	◎		
	CST-200	異文化間コミュニケーション		△		○	◎	△	
	LIG-200	比較文学		△	△	◎	○		
	CUA-200	文化人類学			△	◎	○		
	CUA-300	日本文化特殊講義		△		◎	○	△	
	CUA-300	比較文化特殊講義①		△		◎	○	△	
	CUA-300	比較文化特殊講義②		△		◎	○	△	

			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授 業 科 目	日本の社会 や文化の課 題に取り組 む。	世界の中 での日本を 見つけるグ ローバルな 視点をも つ。	人文学の学 識を習得す る。	歴史的・文 化的・精神 的な遺産 を、正しく 理解するこ とができる。	専門的な知 識にたつ市 民としての あり方を身 につける。	文章表現や 言語的コ ミュニケ ーションの 力を習得す る。	自己実現の 意欲をも ち、他者を 尊重する態 度を身に つける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
文学・語学系	JLT-100	日本文学史(上代・中古)	○		◎				
	JLT-100	日本文学史(中世・近世)	○		◎				
	JLT-100	日本文学史(近現代)	○		◎				
	JLT-100	文学理論	○	○	◎				
	JLT-200	日本文学研究と批評(古典①)	△		○	◎			
	JLT-200	日本文学研究と批評(古典②)	△		○	◎			
	JLT-200	日本文学研究と批評(近現代①)	△		○	◎			
	JLT-200	日本文学研究と批評(近現代②)	△		○	◎			
	LIG-200	ライトノベル論			○	◎	○		
	LIN-200	言語学概論			○	◎	○		
	LIN-200	対照言語学			○	◎	○		
	LIN-200	言語文化論			○	◎	○		
	LIN-200	心理言語学			○	◎	○		
	JLN-200	古典講読A	○		◎				
	JLN-200	古典講読B	△		○	◎	△		
	ESS-200	教えるための古典Ⅰ			○	◎	○	△	
	ESS-200	教えるための古典Ⅱ			○	◎	○	△	
	ESS-300	教えるための古典Ⅲ(古文)			△	◎	○	○	△
	ESS-300	教えるための古典Ⅲ(漢文)			△	◎	○	○	△
	ESS-200	教えるための現代文A	△		○	◎	○	△	
	ESS-200	教えるための現代文B	△		○	◎	○	△	
	ESS-200	国語科教育法Ⅰ			○	◎	○	△	
	ESS-200	国語科教育法Ⅱ			○	◎	○	△	
	ESS-300	国語科教育法Ⅲ			△	◎	○	○	○
	ESS-300	国語科教育法Ⅳ			△	◎	○	○	◎
	CHL-100	中国文学	△	○	◎				
	JLT-100	漢文学概説	△	○	◎				
	JLN-200	日本語学(文字語彙)	△		○	◎	○		
	JLN-200	日本語学(文法)	△		○	◎	○		
	JLN-200	日本語学(音声)	△		○	◎	○		
	JLE-100	言語習得と異文化受容		○	◎			△	
	JLE-100	日本語教育B		○	◎			△	
	JLE-200	日本語教育C		○	◎			△	
	JLE-200	日本語教育D		○	◎			△	
	JLE-200	日本語教育(基礎技術)		○	◎			△	
	JLE-300	日本語教育実習		△		○	◎	○	○
	LIN-200	グローバル社会と国際理解	△	○		○	◎	△	
	JLT-300	日本文学特殊講義①			○	◎	○		
	JLT-300	日本文学特殊講義②			○	◎	○		
	JLN-300	日本語学特殊講義			○	◎	○		
	LIN-300	言語学特殊講義			○	◎	○		
歴史・思想系	JPH-200	日本史の研究(古代史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(中世史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(近世史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(近代史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	日本史の研究(現代史特論)	○		△	◎			
	JPH-200	歴史と文化	○		△	◎			
	JPH-200	歴史と社会	○		△	◎			
	HIT-200	日本の思想(儒教)	○		△	◎			
	HIT-200	日本の思想(仏教)	○		△	◎			
	HIT-200	日本の思想(キリスト教)	○		△	◎			
	RES-200	比較宗教学		○	△	◎			
	CIB-200	中国思想		○	△	◎			
	JPH-300	日本史特殊講義	△			◎	○		
	HIT-300	日本思想特殊講義	△			◎	○		

			DP関連項目						
			DP1			DP2		DP3	
科目 区分	ナンバリング	授 業 科 目	日本の社会や文化の課題に取り組む。	世界の中での日本を見つめるグローバルな視点をもつ。	人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につける。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得する。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につける。
			日本の社会や文化の課題を認識し、その解決策を提案できる。	世界の視点から日本について深く考えることができる。	幅広くかつ深く人文学の学識を習得する。	歴史的・文化的・精神的な遺産を、正しく理解し尊重することができる。	専門的な知識にたつ市民としてのあり方を身につけ、ふさわしい活動を意識できる。	文章表現や言語的コミュニケーションの力を習得し、互いの考えを発展させることができる。	自己実現の意欲をもち、他者を尊重する態度を身につけ、周囲の人と協働しようとする。
応 用 科 目	EDU-200	生涯学習概論			○	○	◎		
	LIH-200	図書館情報学概論			○	○	◎		
	LIH-200	図書館サービス概論			○	○	◎		
	LIH-200	情報メディア史			○	○	◎		
	IND-300	インディペンデント・スタディA	△	△		△	◎		○
	IND-300	インディペンデント・スタディB	△	△		△	◎		○
	IND-200	インディペンデント・スタディC	△	△		△	◎		△
	IND-200	インディペンデント・スタディD	△	△		△	◎		△
修 了 科 目	SEM-400	卒業レポートA				○	○	◎	◎
	SEM-400	卒業レポートB				○	○	◎	◎
	THE-400	卒業論文				○	○	◎	◎
演 習 科 目	SEM-200	専門演習Ⅰ				◎	◎	○	△
	SEM-200	専門演習Ⅱ				◎	◎	○	△
	SEM-300	卒業研究Ⅰ				◎	◎	○	○
	SEM-300	卒業研究Ⅱ				◎	◎	○	○
	ESS-300	教職演習A				◎	◎	○	○
	ESS-300	教職演習B				◎	◎	○	○

子ども教育学科 ディプロマ・ポリシー

- ① 「人間学を基底において児童学」を通じて培った他者理解の方法論を基にして、言葉・子どもの文化・人間関係に関する素養を身につけた人を育てる。
② 発達理論や心理学の知識を土台にして子どもの「言葉にならない思い」を汲み上げることができるとともに、対人援助技術を身につけコミュニケーション力を活かして社会で活躍できる人を育てる。
③ 異文化を背景とした「子どもの育ち」を応援できる、グローバル化に対応できる人を育てる。
④ 資格取得を求める学生に対しては、責任感と倫理観を備えた子どもを育てる専門人として、子どもとその家族の良きパートナーになり、子どもが生きやすい環境づくりと社会全体の福祉に貢献できる小学校教諭、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士となるよう育成を図る。

◎＝強く学修成果を求めるもの
○＝学修成果を求めるもの
△＝学修成果を望むもの

DP／科目対応表

			DP関連項目												
			DP1				DP2		DP3		DP4				
			他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもの文化に関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化を背景とした「子どもの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての責任感の修得	専門職としての倫理観の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許状の取得
科目区分	ナンバリング	授業科目	省察を通して子ども理解の方法論を基にして、子どもに限らない他者を理解する力を身につける。	言語文化の豊かさを実感し、適切な言葉を選択することから理解・共感・興味・意欲が生まれることをふまえ、言葉を活用して他者との関係性を構築できる。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上と子どもの福祉の実現や発達の保障に取組む力を身につける。	発達と人間関係構築の関連性の理解をもとに、子どもの育ちを保障する関わり方を模索し、実践することができる。	子どもの「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身の主体形成が保障される関わりを模索し実践できる。	対象となる子どもの成長・発達の視点から、自らの援助の方法を振り返り方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら自らの伝えたいことを表出し、伝わる方策を探りながら効果的に伝え、他者の伝えたい思いにも応える力がある。	文化的背景が子どもの育ちに影響を及ぼすことについて理解し、他者と向き合う際に、その人の文化的背景を尊重し態度に示すことができる。	グローバル化がもたらす課題に対応する一方、社会や世界に向かう子どもの視野を広げ、拓かれた関係性につながる関わりを模索できる。	責任を果たす大人が傍らにいて子どもが育つことを認識し、子どもとの関わりにおける専門職としての自らの価値を知り、子どもの育ちに果たす役割を創出することができる。	子どもに臨む専門職の倫理観が子どもの福祉の実現に不可欠であることを認識し、子どもをめぐる環境を倫理的に点検、保全する力がある。	子どもとの対等性を基盤とした関わりを通じて子どもの思いを汲み、将来に向けた長期的な支援計画を視野に入れた保育・教育を実践することが出来る。	資格/免許状の取得に必要な学修で身につけた知識・技能と実習を往還し、自らの実践を子どもの視点から点検して改善する方法を体系的に身につける。
共通基 本 科 目	CHS-100	児童学概論	◎			◎	◎		○	◎			△		
	ESS-300	教職演習 A							○			○	○	○	
	ESS-300	教職演習 B							○			○	○	○	
	ESS-300	教職演習 C							○			○	○	○	
	ESS-300	教職演習 D							○			○	○	○	
	ESS-300	教職演習 E							○			○	○	○	
	ESS-300	教職演習 F							○			○	○	○	
	ESS-400	教職演習 G	○						○	○	○	○	○	○	△
	ESS-300	教職演習 (小学校英語 A)		○					○		◎	○	○	○	
ESS-300	教職演習 (小学校英語 B)		○					○		◎	○	○	○		
CHS-100	児童学海外研修	◎				◎	◎	◎	◎	◎					
児 童 文 化 系 統	CHS-100	児童文化論	◎		◎		○		○						
	CHS-200	絵本文化論		◎	◎				○						
	LIG-100	児童文学		◎	◎				○	◎					
	LIE-100	英米児童文学		◎	◎				○	◎	◎				
	LIG-200	ファンタジー論		○	◎				○	○	◎				
	ESS-100	Smile English (幼児の英語)		○					◎	◎	◎	△	△	△	
	CST-100	異文化理解	○	○		◎		○	◎	◎	◎				
	CHS-200	おもちゃ論		○					○						
	EDU-200	異文化間教育		○	◎		○	○	◎	◎	◎				
ASA-100	芸術と文化（西洋音楽）			○				◎							
CHS-200	パネルシアターの理論と方法			◎			○	◎							
CUA-200	日本の民俗				○				◎	◎					
心 理 学 系 統	EDP-100	教育心理学	○	○		○	◎	◎							△
	EDP-100	発達心理学	◎			◎	◎	◎							△
	EDP-200	子ども家庭支援の心理学				○	◎	◎				△	◎	◎	△
	EDP-200	教育相談(カウンセリングを含む。)	○			○	◎	◎				◎	◎	◎	△
	PSY-100	心理学	○			○	◎	◎							
教 育 学 系 統	EDU-100	教育原理	○			◎		○							△
	EDU-100	キリスト教保育論	◎			◎		◎	○		◎	△	△	△	
	SOE-100	教育社会学			◎		○			◎	◎				△
	EDU-200	地域社会教育論 A								○					
	EDU-200	地域社会教育論 B								○					
	EDU-200	現代社会と社会教育 A								○					
	EDU-200	現代社会と社会教育 B				○				○					

子ども教育学科カリキュラムマップ(2026年度)

			DP関連項目													
			DP1				DP2			DP3		DP4				
			他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもの文化に関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化を背景とした「子どもの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての責任感の修得	専門職としての倫理観の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許状の取得	
科目区分	ナンバリング	授業科目	省察を通した子ども理解の方法論を基にして、子どもに限らない他者を理解する力を身につける。	言語文化の豊かさを実感し、適切な言葉を選択することから理解・共感・興味・意欲が生まれることをふまえ、言葉を活用して他者との関係性を構築できる。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上を通した子どもの福祉の表現や発達の保障に取組む力を身につける。	発達と人間関係構築の関連性の理解をもとに、子どもの人間関係の育ちを保障する関わり方を模索し、実践することができる。	子どもの「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身の主体形成が保障される関わりを模索し実践できる。	対象となる子どもの成長・発達の視点から、自らの援助の方法を振り返り方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら自らの伝えたいことを表出し、伝わる方策を探りながら効果的に伝え、他者の伝えたい思いにも応える力がある。	文化的背景が子どもの育ちに影響を及ぼすことについて理解し、他者と向き合う際に、その人の文化的背景を尊重し態度に示すことができる。	グローバル化がもたらす課題に対応する一方、社会や世界に向かう子どもの視野を広げ、拓かれた関係性につながる関わりを模索できる。	責任を果たす大人が傍らにいて子どもが育つことを認識し、子どもの育ちに関する専門職としての自らの価値を知り、子どもの育ちに果たす役割を創出することができる。	子どもに臨む専門職が子どもの福祉の実現に不可欠であることを認識し、子どもをめぐる環境を倫理的に点検、保全する力がある。	子どもとの対等性を基盤とした関わりを通じて子どもの思いを汲み、将来に向けた長期的な支援計画を視野に入れた保育・教育を実践することができる。	資格/免許状の取得に必要な学修で身につけた知識・技能と実習を往還し、自らの実践を子どもの視点から点検して改善する方法を体験的に身につける。	
福祉・教育関連システム	SWS-100	社会福祉					○	○		○					△	
	SWS-200	子ども家庭福祉	○				○	○		○			○		△	
	EDU-100	保育原理	◎			◎	○	○		○					△	
	SWS-200	社会的養護A				○	○	◎		○		○	◎	○	△	
	SWS-300	社会的養護B				○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	△	
	EDU-200	乳児保育A	◎			◎	◎	◎	◎			○	◎	○	△	
	EDU-300	乳児保育B	◎			◎	◎	◎	◎			○	◎	○	△	
	SWS-200	子育て支援				○	◎	◎	◎			○	◎	○	△	
	EDU-200	障害児保育	◎				◎	◎	◎			○	◎	○	△	
	EDU-200	子どもの保健				○									△	
教育関連科目	EDU-200	子どもの健康と安全							◎			○	◎	○	△	
	SWS-300	子ども家庭支援論				○	○	○	○	○		○	◎	○	△	
	EDU-200	子どもの食と栄養				○		○	○			○	◎	○	△	
	ESS-100	国語		◎					○						△	
	ESS-100	言葉の基礎		◎					◎						△	
	ESS-100	社会			○										△	
	ESS-100	算数													△	
	ESS-100	理科													△	
	ESS-100	生活			○	○									△	
	ESS-100	家庭			○	○									△	
教育関連科目	ESS-100	外国語		○					○		◎				△	
	ESS-100	図画工作			○										△	
	ESS-100	造形表現基礎			○	○			○						△	
	ESS-100	体育				○									△	
	ESS-100	音楽			○										△	
	ESS-200	音楽・器楽A			○											
	ESS-200	音楽・器楽B			○											
	ESS-300	音楽・器楽（オルガンA）			○											
	ESS-300	音楽・器楽（オルガンB）			○											
	ESS-300	音楽・実践演習A			○											
教育関連科目	ESS-300	音楽・実践演習B			○											
	ESS-200	音楽・合奏指導			○											
	ESS-100	音楽・実技A			○										△	
	ESS-100	音楽・実技B			○										△	
	EDU-100	教師論	○			○	○		○	◎	◎	○	◎	○	△	
	EDU-400	保育・教職実践演習（幼）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	EDU-400	教職実践演習（小）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	EDU-200	教育・保育課程論								○	○				△	
	教育関連科目	EDU-100	保育内容総論	◎	◎	◎	◎	○			○					△
		EDU-100	子どもと健康				◎									△
EDU-100		子どもと人間関係	◎			◎									△	
EDU-100		子どもと環境			◎										△	
EDU-100		子どもと言葉		◎											△	
EDU-100		子どもと表現	◎	◎	◎	◎									△	
EDU-300		保育内容・健康	◎			◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	
EDU-300		保育内容・人間関係	◎			◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
EDU-300		保育内容・環境	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
EDU-300		保育内容・言葉	◎	◎		◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	
教育関連科目	EDU-300	保育内容・表現	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	
	EDU-300	子ども理解の理論と方法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○					△	
	EDU-200	子ども理解演習	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎	
	SNE-300	特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援	◎				○	○	○	◎	◎				△	

			DP関連項目												
			DP1				DP2			DP3		DP4			
科目区分	ナンバリング	授 業 科 目	他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもの文化に関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化を背景とした「子どもの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての責任感の修得	専門職としての倫理観の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許状の取得
			省察を通して子ども理解の方法論を基にして、子どもに限らない他者を理解する力を身につける。	言語文化の豊かさを实感し、適切な言葉を選択することから理解・共感・興味・意欲が生まれることをふまえ、言葉を活用して他者との関係性を構築できる。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上を通した子どもの福祉の実現や発達の保障に取組む力を身につける。	発達と人間関係構築の関連性の理解をもとに、子どもの人間関係の育ちを保障する関わり方を模索し、実践することができる。	子どもの「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身の主体形成が保障される関わりを模索し実践できる。	対象となる子どもの成長・発達の視点から、自らの援助の方法を振り返り、関わり方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら自らの伝えたいことを表出し、伝わる方策を探りながら効果的に伝え、他者の伝えたい思いにも応える力がある。	文化的背景が子どもの育ちに影響を及ぼすことについて理解し、他者と向き合う際に、その人の文化的背景を尊重し態度を示すことができる。	グローバル化がもたらす課題に対応する一方、社会や世界に向かう子どもの視野を広げ、拓かれた関係性につながる関わりを模索できる。	責任を果たす大人が傍らにいて子どもが育つことを認識し、子どもの育ちに関わる専門職としての自らの価値を知り、子どもの育ちに果たす役割を創出することができる。	子どもに臨む専門職の倫理観が子どもの福祉の実現に不可欠であることを認識し、子どもをめぐる環境を倫理的に点検、保全する力がある。	子どもとの対等性を基盤とした関わりを通じて子どもの思いを汲み、将来に向けた長期的な支援計画を視野に入れた保育・教育を実践することができる。	資格/免許状の取得に必要な学修で身につけた知識・技能と実習を往還し、自らの実践を子どもの視点から点検して改善する方法を体験的に身につける。
教	EDU-200	教育課程論								○	○				△
	ESS-200	初等国語科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	初等社会科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	算数科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	理科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	生活科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	音楽科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	図画工作科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	家庭科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	ESS-200	体育科教育法	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
育	ESS-200	外国語指導法	◎				◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	ESS-200	道德教育指導法	◎				◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
	ESS-200	総合的な学習の時間の指導法	◎				◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	ESS-200	特別活動指導法	◎				◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
	EDU-200	教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）					○	◎	◎						△
	ESS-200	生徒指導論（進路指導を含む。）					◎	◎	◎			◎	○	○	△
	EDU-200	学校インターンシップ（基礎）	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	EDU-300	学校インターンシップ	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	EDU-400	幼稚園教育実習	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	EDU-400	幼稚園教育実習（副）	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
関	EDU-300	保育実習	◎				◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎
	EDU-300	保育実習指導	◎				◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎
	EDU-400	保育実習A	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	EDU-400	保育実習B	◎				◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎
	EDU-400	保育実習指導A	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	EDU-400	保育実習指導B	◎				◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎
	EDU-400	小学校教育実習	◎				◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎
	EDU-200	キリスト教と学校教育					○	○	○				△		
	EDU-200	介護等体験及び事前事後指導					○	○	○			△	△	△	
	SNE-100	障害児教育総論	○			○	△			○					△
科	SNE-100	知的障害児の心理・生理・病理A													△
	SNE-200	知的障害児の心理・生理・病理B													△
	SNE-200	肢体不自由児の心理・生理・病理													△
	SNE-200	病弱児の心理・生理・病理													△
	SNE-300	情緒障害児の心理	○				△								△
	SNE-300	知的障害児指導法					○	○	○			○			△
	SNE-300	病弱児指導法					○	○	○			○			△
	SNE-300	障害幼児指導法					○	○	○			○			△
	SNE-300	肢体不自由児指導法					○	○	○			○			△
	SNE-200	視覚障害児の教育総論					△								△
目	SNE-200	聴覚障害児の教育総論					△								△
	SNE-300	重複障害児の教育総論					△								△
	SNE-100	発達障害児の教育総論					△								△
	SNE-400	特別支援教育実習	◎				◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎
	LIH-200	学校経営と学校図書館													
	LIH-200	学校図書館メディアの構成													
	LIH-200	学習指導と学校図書館			○										
	LIH-200	読書と豊かな人間性		○	○										
	LIH-200	情報メディアの活用													

			DP関連項目														
			DP1				DP2			DP3		DP4					
			他者理解の方法論の修得	言葉に関する素養の修得	子どもの文化に関する素養の修得	人間関係に関する素養の修得	子どもの「言葉にならない思い」を汲む力の修得	対人援助技術の修得	コミュニケーション力の修得	異文化を背景とした「子どもの育ち」への理解	グローバル化への対応力の修得	専門職としての責任感の修得	専門職としての倫理観の涵養	専門職としてのパートナーシップの育成	専門職に就くための資格/免許状の取得		
科目区分	ナンバリング	授業科目	省察を通した子ども理解の方法論を基にして、子どもに限らない他者を理解する力を身につける。	言語文化の豊かさを実感し、適切な言葉を選択することから理解・共感・興味・意欲が生まれることをふまえて、言葉を活用して他者との関係性を構築できる。	子どもの文化を多角的に理解することを通して、文化的環境の向上を通した子どもの福祉の実現や発達保障に取組む力を身につける。	発達と人間関係構築の関連性の理解をもとに、子どもの人間関係の育ちを保障する関わり方を模索し、実践することができる。	子どもの「言葉にならない思い」を汲み、子ども自身の主体形成が保障される関わり方を模索し実践できる。	対象となる子どもの成長・発達の視点から、自らの援助の方法を振り返り、関わり方を改善していくことができる。	他者の思いを汲みながら自らの伝えたいことを表出し、伝わる方策を探りながら効果的に伝え、他者の伝えたい思いにも応える力がある。	文化的背景が子どもの育ちに影響を及ぼすことについて理解し、他者と向き合う際に、その人の文化的背景を尊重し態度を示すことができる。	グローバル化がもたらす課題に対応する一方、社会や世界に向かう子どもの視野を広げ、拓かれた関係性につながる関わりを模索できる。	責任を果たす大人が傍らにいて子どもが育つことを認識し、子どもの育ちに関わる専門職としての自らの価値を知り、子どもの育ちに果たす役割を創出することができる。	子どもに臨む専門職の倫理観が子どもの福祉の実現に不可欠であることを認識し、子どもをめぐる環境を倫理的に点検、保全する力がある。	子どもとの対等性を基盤とした関わりを通じて子どもの思いを汲み、将来に向けた長期的な支援計画を視野に入れた保育・教育を実践することができる。	資格/免許状の取得に必要な学修で身につけた知識・技能と実習を往還し、自らの実践を子どもの視点から点検して改善する方法を体験的に身につける。		
応用科目	IND-100	インディペンデント・スタディA															
	IND-100	インディペンデント・スタディB															
	IND-100	インディペンデント・スタディC															
	IND-100	インディペンデント・スタディD															
演習科目	SEM-100	専門演習Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△		
	SEM-200	専門演習Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△		
	SEM-200	研究準備演習	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△		
	SEM-300	卒業研究Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△		
	SEM-400	卒業研究Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	△	△	△		

心理福祉学科 ディプロマ・ポリシー

- ①心理学と福祉学を中心に、現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、共生社会の創成に資するための基礎的な知識と能力を身につけた者に学士(心理福祉学)の学位を与える。
- ②現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、共生社会の創成に資するための基礎的な知識と能力を身につけたうえで、演習・実習を通して心理学研究法および心理学的支援の技術を修得した者には、学士(心理福祉学)の学位に加えて公認心理師の国家試験受験資格を与える(ただし、本学科卒業後に大学院課程を修了もしくは実務経験を得ることを条件とする)。
- ③現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、共生社会の創成に資するための基礎的な知識と能力を身につけたうえで、演習・実習を通して社会福祉援助技術を修得した者には、学士(心理福祉学)の学位に加えて社会福祉士の国家試験受験資格を与える。
- ④現代人の心理と現代社会における福祉的課題に関する専門知識を修得し、共生社会の創成に資するための基礎的な知識と能力を身につけたうえで、演習・実習を通して精神保健福祉援助技術を修得した者には、学士(心理福祉学)の学位に加えて精神保健福祉士の国家試験受験資格を与える。

◎＝強く学修成果を求めるもの
○＝学修成果を求めるもの
△＝学修成果を望むもの

DP／科目対応表

			DPLRブリック					
科目区分	ナンバリング	授業科目	DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
			①現代人と 社会の心理 に関する専門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会 福祉研究法 に基づく研 究の理解と 実践
			心理学研究法を駆使して、現代人の心理と心理的問題を把握し、その解決方法を多様な視点から考察する。	現代社会の福祉的課題に関する制度・仕組みにおける課題の解決方法を提案する。	多様な状況にある人々に対して、柔軟に対応できるコミュニケーションスキルと支援を要する人と関わる積極的な姿勢と支援を実践できる力を身につけている。	自己の特性・立場を明確に理解し、状況に即して自己の言動をコントロールする。他者の立場に立って物事を考える共感的態度をもち、行動する。	多様な地域や文化を尊重し、それらに触れながら学ぶことで、自分の価値観や考え方を調整することができる。他者が多様性に触れる機会に関わり、それを促している。	心理学研究法・社会福祉研究法に基づく研究により、共感的態度と社会的責任や役割を自覚し、課題解決や目的実現の方法を検討するとともに、実際に行動する。
共通基礎科目	FYE-100	共生社会総論	◎	◎	◎	◎	◎	△
	LIH-100	情報社会の基礎理論	○	○	◎	△	○	◎
	HUP-100	人体の構造と機能及び疾病	○	○	△	○	○	
	SWS-200	精神保健学	◎	◎	△	○	○	△
	PSS-200	精神疾患とその治療	◎	◎	△	○	○	△
	HPH-200	保健医療と福祉	◎	◎	△	○	○	△
	SOC-100	社会学と社会システム	△	◎	○	○	○	△
	SOC-100	家族社会学	△	◎	○	○	○	
	CHS-200	こども学	△	○	△	○	○	
	SWS-200	社会老年学	○	◎	△	○	○	△
	SWS-200	社会保障論	△	◎	△	○	○	
	SWS-300	権利擁護を支える法制度	△	◎	○	○	○	

			DPループリック					
科目区分	ナンバリング	授業科目	DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
			①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤多様性の 尊重と他者 との協働	⑥心理学研 究法・社会 福祉研究法 に基づく研 究の理解と 実践
			心理学研究法 を駆使して、 現代人の心理 と心理的問題 を把握し、そ の解決方法を 多様な視点か ら考察する。	現代社会の福 祉の課題に関 する制度・仕 組みにおける 課題の解決方 法を提案す る。	多様な状況に ある人々に対 して、柔軟に 対応できるコ ミュニケー ションスキル と支援を要す る人と関わる 積極的な姿勢 と支援を実践 できる力を身 につけている。	自己の特性・ 立場を明確に 理解し、状況 に即して自己 の言動をコン トロールす る。他者の立 場に立って物 事を考える共 感的態度をも ち、行動す る。	多様な地域や 文化を尊重 し、それらに 触れながら学 ぶことで、自 分の価値観や 考え方を調整 することがで きる。他者が 多様性に触れ る機会に関わ り、それを促 している。	心理学研究 法・社会福祉 研究法に基づ く研究によ り、共感的態 度と社会的責 任や役割を自 覚し、課題解 決や目的実現 の方法を検討 するとともに、 実際に行動 する。
共通基 礎科目	SOC-100	社会福祉調査の基礎	△	◎	○	○	○	◎
	SWS-100	ボランティア概論	△	◎	○	○	○	
心理 関連 科目	PSY-100	心理学概論	◎	○	○	○	○	△
	EXP-100	心理学研究法	◎	◎	△	△	△	◎
	EXP-100	心理データ処理基礎	◎	◎				◎
	EXP-100	心理学統計法Ⅰ	◎	◎				◎
	EXP-200	心理学統計法Ⅱ	◎	◎				◎
	EXP-100	知覚・認知心理学	◎	△	○	○	○	△
	EXP-200	神経・生理心理学	◎	△	○	○	○	△
	EDP-200	発達心理学	◎	△	○	○	○	△
	EDP-200	児童心理学	◎	△	○	○	○	
	EDP-200	青年心理学	◎	△	○	○	○	
	EDP-200	教育・学校心理学	◎	△	○	○	○	△
	SOP-100	社会・集団・家族心理学	◎	△	○	○	○	△
	SOP-200	対人関係論	◎	△	○	○	○	
	CLI-300	司法・犯罪心理学	◎	△	○	○	○	△
	CLI-200	健康・医療心理学	◎	△	○	○	○	△
	EXP-100	感情・人格心理学	◎	△	○	○	○	△
	CLI-300	福祉心理学	◎	◎	○	○	◎	△
	CLI-200	臨床心理学概論	◎	△	○	○	◎	△
	CLI-300	発達臨床心理学	◎	△	○	○	○	△
	CLI-100	カウンセリング心理学	◎	△	○	○	○	
	CLI-100	スポーツ心理学	◎	△	○	○	○	
	EDP-200	障害者・障害児心理学	◎	◎	○	○	◎	△
	CLI-200	関係行政論	◎	◎	△	△	○	
	EXP-100	学習・言語心理学	◎	△	○	○	○	△
	SOP-200	産業・組織心理学	◎	△	○	○	○	△
福祉 関連 科目	SWS-100	社会福祉の原理と政策	○	◎	△	○	○	△
	SWS-100	ソーシャルワークの基盤と専門職	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの基盤と専門職(社会)	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法A	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法B	○	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法C(社会)	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	子ども家庭福祉論	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	高齢者福祉論	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	障害者福祉論	○	◎	○	○	○	△

			DPループリック					
科目区分	ナンバリング	授業科目	DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
			①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤ 多様性の 尊重と他者 との協働	⑥ 心理学研 究法・社会 福祉研究法 に基づく研 究の理解と 実践
			心理学研究法 を駆使して、 現代人の心理 と心理的問題 を把握し、そ の解決方法を 多様な視点か ら考察する。	現代社会の福 祉的課題に関 する制度・仕 組みにおける 課題の解決方 法を提案す る。	多様な状況に ある人々に対 して、柔軟に 対応できるコ ミュニケー ションスキル と支援を要す る人と関わる 積極的な姿勢 と支援を実践 できる力を身 につけている。	自己の特性・ 立場を明確に 理解し、状況 に即して自己 の言動をコン トロールす る。他者の立 場に立って物 事を考える共 感的態度をも ち、行動す る。	多様な地域や 文化を尊重 し、それらに 触れながら学 ぶことで、自 分の価値観や 考え方を調整 することがで きる。他者が 多様性に触れ る機会に関わ り、それを促 している。	心理学研究 法・社会福祉 研究法に基づ く研究によ り、共感的態 度と社会的責 任や役割を自 覚し、課題解 決や目的実現 の方法を検討 するとともに、 実際に行動 する。
福祉 関連 科目	SWS-200	貧困に対する支援	○	◎	△	○	○	△
	SWS-200	地域福祉と包括的支援体制	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	スクールソーシャルワーク論	○	◎	○	○	○	△
	SWS-200	スクールソーシャルワーク実践	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	スクールソーシャルワーク演習	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	スクールソーシャルワーク実習指導	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	スクールソーシャルワーク実習	○	◎	○	○	○	△
	SWS-300	刑事司法と福祉	◎	◎	△	○	○	△
	SWS-300	福祉サービスの組織と経営	◎	◎	△	○	○	△
	SWS-200	精神保健福祉制度論	◎	◎	△	○	○	△
	SWS-200	ソーシャルワークの理論と方法C(精神)	◎	◎	○	○	○	△
	SWS-200	精神障害リハビリテーション論	◎	◎	○	○	○	△
	SWS-100	精神保健福祉の原理A	◎	◎	◎	◎	◎	△
	SWS-100	精神保健福祉の原理B	◎	◎	◎	◎	◎	△
国家 資格 演習・実習科目	公認心理師	EXP-200	心理学実験	◎	○	◎	◎	◎
	公認心理師	CLI-200	心理的アセスメント	◎	○	◎	◎	◎
	公認心理師	CLI-300	心理学的支援法	◎	○	◎	◎	○
	公認心理師	CLI-200	公認心理師の職責	◎	○	◎	◎	○
	公認心理師	CLI-300	心理演習	◎	○	◎	◎	○
	公認心理師	CLI-300	心理実習	◎	○	◎	◎	○
国家 資格 演習・実習科目	社会福祉士	SWS-200	ソーシャルワーク演習(共通)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-200	ソーシャルワーク演習A(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-200	ソーシャルワーク演習B(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-200	ソーシャルワーク演習C(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-200	ソーシャルワーク演習D(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-300	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-300	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-300	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-300	ソーシャルワーク実習Ⅰ(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-300	ソーシャルワーク実習Ⅱ(社会)	○	◎	◎	◎	△
	社会福祉士	SWS-300	ソーシャルワーク実習Ⅲ(社会)	○	◎	◎	◎	△

			DPループリック					
科目区分	ナンバリング	授業科目	DP①a DP②	DP①b DP③ DP④	DP①c DP③ DP④			
			①現代人と 社会の心理 に関する専 門知識の習 得と活用	②現代人と 社会の福祉 に関する専 門知識の習 得と活用	③コミュニ ケーション スキルと対 人支援の技 術	④自らの特 性や立場の 理解	⑤ 多様性の 尊重と他者 との協働	⑥ 心理学研 究法・社会 福祉研究法 に基づく研 究の理解と 実践
			心理学研究法 を駆使して、 現代人の心理 と心理的問題 を把握し、そ の解決方法を 多様な視点か ら考察する。	現代社会の福 祉的課題に関 する制度・仕 組みにおける 課題の解決方 法を提案す る。	多様な状況に ある人々に対 して、柔軟に 対応できるコ ミュニケー ションスキル と支援を要す る人と関わる 積極的な姿勢 と支援を実践 できる力を身 につけている。	自己の特性・ 立場を明確に 理解し、状況 に即して自己 の言動をコン トロールす る。他者の立 場に立って物 事を考える共 感的態度をも ち、行動す る。	多様な地域や 文化を尊重 し、それらに 触れながら学 ぶことで、自 分の価値観や 考え方を調整 することがで きる。他者が 多様性に触れ る機会に関わ り、それを促 している。	心理学研究 法・社会福祉 研究法に基づ く研究によ り、共感的態 度と社会的責 任や役割を自 覚し、課題解 決や目的実現 の方法を検討 するとともに、 実際に行動 する。
国家資格 演習・実習 科目	精神保健 福祉士	SWS-200 ソーシャルワーク演習(共通)	○	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-200 ソーシャルワーク演習A(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-200 ソーシャルワーク演習B(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-200 ソーシャルワーク演習C(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300 ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
		SWS-300 ソーシャルワーク実習(精神)	◎	◎	◎	◎	◎	△
科目 目用	IND-100	インディペンデント・スタディA						
	IND-100	インディペンデント・スタディB						
	IND-100	インディペンデント・スタディC						
	IND-100	インディペンデント・スタディD						
	SWS-400	社会福祉学特講A	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	社会福祉学特講B	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	社会福祉学特講C	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	社会福祉学特講D	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	精神保健福祉学特講A	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	精神保健福祉学特講B	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	精神保健福祉学特講C	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	精神保健福祉学特講D	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	ソーシャルワーク特講A	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	ソーシャルワーク特講B	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	ソーシャルワーク特講C	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SWS-400	ソーシャルワーク特講D	○	◎	◎	◎	◎	◎
演習 科目	SEM-200	専門演習Ⅰ	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	専門演習Ⅱ	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-300	卒業研究Ⅰ	◎	◎	○	○	○	◎
	SEM-400	卒業研究Ⅱ	◎	◎	○	○	○	◎
	THE-400	卒業論文	○	○	○	○	○	◎